



◀防染のりを塗るときはむらにならないように、慎重に。ついつい力が入ってしまいました。佐藤さんがそっとお手伝いしてくれたので、なんとかきれいにできました

丁寧に丁寧に…



どんな構図にしようかな！

▼最後にひき粉をまんべんなくかぶせて、ドライヤーで乾かせば、模様付けは完成です



▶型紙が出来たら、次はレイアウトを決定します

## 型染め～型紙通りにくっきりと

型紙を布に当てて、その上から防染のりを塗ります。のりを塗った部分が染まらずに白く残り、模様が付きます



◀まずは型作りから。丁寧にカッターでくりぬきます

## 縫い絞り～糸で縫って絞ります

太めの強い糸で描きたい線を平縫いします。その糸を強く引き締め、液が入り込まないようにします。

▶まずは椎野さんがお手本を。一針一針丁寧に縫っていきます



▲真っすぐ縫ったり円く縫ったりすることで自由に模様を描けます。また、輪に縫った中の布を糸で巻き上げて覆うことで白抜きができます

絞り独特の、細かいしわが残り、味わい深い出来上がりになります



## 藍染め体験ができる主な催し物

### 藍を極める講座(5月ころ・北区民センター)

藍染め液を作る「藍建て」から行う講座です。数回にわたる講座で、いろいろな技法を体験できます。

### リンケージアップフェスティバル(9月上旬・大通公園)

道内市町村同士が交流を深めるお祭りで、藍染め体験コーナーが設置されます。15分くらいでハンカチやバンダナを染めることができ、気軽に体験できます。

### 北区民文化祭(10月下旬・北区民センター)

北区民センター実習室に藍染め体験コーナーが設置され、リンケージと同じようにハンカチやバンダナを染めることができます。

## たくさんの人たちが藍染めを体験しています



◀区主催の市民見学会に藍染め体験を取り入れました。参加した人たちは「またやりたい」と大満足でした



▶北区高齢者大学「北親大学」で開催された藍染め講座。「すでにできてうれしい」とお互いに作品を披露していました



藍染めにはたくさんの技法があることを知り、もっともっと試してみたいと思いました。染めている間の待ち遠しさや、完成品を見たときの喜びは想像以上です。ぜひ皆さんも藍染めの楽しさに触れてみませんか。冬期間、区では藍染めを行っていませんが、来春以降にグループや個人で藍染めを体験したい場合などは、地域振興課地域活動係へ気軽にお問い合わせください。☎757-2400(内線412)